



中央公民館

- ・ 汝、星のごとく (風良 ゆう)
  - ・ そして誰もゆとらなくなった (朝井 リヨウ)
  - ・ 深川駕籠 クリ粥 (山本 一力)
  - ・ 思春期のトリセツ (黒川 伊保子)
  - ・ 未完の美学 (曾野 綾子)
  - ・ 約束の日 安倍晋三試論 (小川 榮太郎)
  - ・ 老いの正体 認知症と友たち (森村 誠一)
  - ・ 空を駆ける (梶 よつ子)
  - ・ 流れる星をつかまえに (吉川 トリコ)
  - ・ 祝祭の子 (逸木 裕)
  - ・ 嘘つきジエガ (辻村 深月)
  - ・ とんこつQ&A (今村 夏子)
  - ・ やつと訪れた春に (青山 文平)
  - ・ 幻告 (五十嵐 律人)
  - ・ 宙ごはん (町田 そのこ)
  - ・ 一心同体だった (山内 マリコ)
- 児童書
- ・ 「すごい毒の生きもの図鑑 わけあって、毒あります。」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・ 新聞少女 (和久井 基生)
  - ・ 大人のソロキャンプ入門 (ヒロシ)
  - ・ 月夜の森の梟 (小池 真理子)
  - ・ 馬鹿みたいな話! (辻 真先)
  - ・ 爆弾 (呉 勝浩)
  - ・ カレーの時間 (寺地 はるな)
  - ・ 人との距離を、整える (主婦と生活社)
  - ・ 真相をお話しします (結城 真一郎)
  - ・ パリの空の下で、息子とぼくの 3000 日 (辻 仁成)
  - ・ 鯉姫婚姻譚 (藍銅 ツバメ)
  - ・ 岡田斗司夫ゼミのサイコパス 人生相談 (岡田 斗司夫)
  - ・ その本は (又吉 直樹・ヨシタケ シンスケ)
  - ・ ぼくらに嘘がひとつだけ (綾崎 隼)
  - ・ 終活中毒 (秋吉 理香子)
  - ・ 財布は踊る (原田 ひ香)
  - ・ アナベル・リイ (小池 真理子)
- 児童書
- ・ 「わけあって絶滅したけど、ちいさんです。」

白崎会館

- ・ よろずを引くもの お蔭さんの神楽坂日記 (西條 奈加)
  - ・ ブータン、世界でいちばん幸せな女の子 (阿川 佐和子)
  - ・ 母の国、父の国 (小手毬 るい)
  - ・ 恋ふらむ鳥は (澤田 瞳子)
  - ・ N (道尾 秀介)
  - ・ おいしいごはんが 食べられますように (高瀬 隼子)
  - ・ 夜に星を放つ (窪 美澄)
  - ・ 季節のつるし飾りとちりめん細工 (井上 重義)
- 児童書
- ・ 「あくん ぱくっ」
  - ・ 「いっばい ぱくっ」
  - ・ 「トーマス、にっぽんへやってくる」
  - ・ 「ベイビー・アンパンマン だくれだ?」
  - ・ 「ねこ、はじめました 1〜5巻」
  - ・ 「ポケットモンスター ソード・シールド 1〜4巻」

由良町公民館だより 2022 秋号 令和 4年 10月 1日



- ・ 中央公民館 (日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- ・ 衣奈会館 (日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- ・ 白崎会館 (日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)

和歌山と移民 (海外へ移住した先人の歴史) パネル展から

7月22日～8月4日まで由良町中央公民館ロビーで標記パネル展が実施されました。この間多くの方の目に留まり、「和歌山と移民」についての理解が得られたものと思います。

和歌山県は全国6位の移民県で、およそ31,000人が第2次世界大戦前に、その後、2,000人が北米・中南米・オーストラリアなどに移民として渡っています。このことは、和歌山の戸当たりの耕地面積が全国と比べ6割程度しかないために、経済的な理由から当然のことかもしれません。和歌山からの移民は、永住が少なくほとんどが出稼ぎ移民で、現地で稼いだお金を故郷に送金して、当時の和歌山の暮らしを支えてきました。

由良町からは231の方が移民として海外へ渡っています。この231人の移住先では、カナダが104人、アメリカは45人で、この2ヶ国で65%を占めています。この他、満州(18人)、ブラジル(8人)、メキシコ(7人)、ハワイ(6人)、フィリピン(3人)、上海(1人)、イギリス(1人)で38人は移住先が不明です。

地区別では、大引が87人で最も多く、次いで多いのが衣奈の38人、畑31人、阿戸23人、横浜11人、吹井9人、門前8人、里7人、戸津井7人、神谷6人、江ノ駒3人、三尾川1人で、大半が漁業従事者で、次いで農業従事者の1次産業への従事者であります。

移民とは、経済的な理由で海外に移住して労働に従事することであり、当時は、大変な迫害を受けながらも故郷を思い、一生懸命働き続けた人々の様子をパネル展の写真や資料を通して見ることができ、そこからは、当時の苦勞が計り知れないものだったと推測されます。

時は流れ、豊かで平和な時代が過ぎ、令和に入ってからからは暗いニュースばかりが先行し、大変な世の中であるからこそ「日本人は勤勉である」との誇りを思い出さずにはいられないパネル展であったと思います。



# 夏休み子ども講座

新型コロナウイルス感染症が蔓延しているなか、感染防止対策をとりながら由良町中央公民館で夏休み子ども講座（7講座）を開催することができました。

子ども達の真剣に取り組んでいる姿や楽しんでいる姿を見ると、夏休み中の行事として、これからも続けていきたいものです。



【クッキング（パン作り）】



【絵を描こう】



【硬筆教室】



【夏休み電気教室】



【染物（みかん染）】



【フラワーアレンジメント】



【和紙で作るランプシェード】

## 【短歌】



夕さりて山間に入る救急車しばらく続くわれの憶測  
 餌を求め飛びきし二羽の青鷺は青田の中をしづかに歩く  
 青き田におたまじゃくしをすくふとてはしゃげる子らは汗だくにして  
 さまざまに咲く庭の花高地なる墓に供ふを子らに頼みぬ  
 梅雨明けの猛暑に潜みぬし蛙小降り雨に生き生きとせり  
 早朝に届きし桃は知らぬ間に赤く色づきくるにおどろく  
 さはさはと風心地よし由良川辺子雀二つ飛び交ふ夕べ  
 わが畑の茄子とピーマンより採りて夕餉となせばビールはすむ

二本松 せつ子  
 大西 克恵  
 坂田 ひろ美  
 中家 かよ子  
 濱田 順子  
 寺井 由美  
 塩路 弘子  
 山下 清美

## 【俳句】

汗拭ひ掴みし智辯甲子園  
 コロナ蔓延個々に草引く墓掃除  
 食台が文机となる夜の秋  
 刻々と過去になる今炎天下  
 水打ちて心の髪を正しくす  
 風向の変はりてよりの法師蟬  
 あゆづりのさおの重さや老の坂  
 貸本屋跡形も無くつくつくし

伊藤 秀一  
 上本 郁子  
 片山 綾子  
 小谷 かおり  
 小山 ひとみ  
 坂田 妹子  
 高橋 義巳  
 竹中 桃代

初秋や洗ひて一と握りの髪  
 浜木綿に大きな蝶の来てをりぬ  
 磯から磯へ隧道抜くる残暑かな  
 逃げ足の影まではやき夜の蜘蛛  
 青空の小窓は四角法師蟬  
 灯は水のごとくに廻り盆燈籠

田淵 佳根  
 広瀬 峰雄  
 藤田 薫  
 山下 治子  
 吉村 美恵子  
 北岡 ゆみ

## 【10月～12月の行事予定】

### 【中央公民館】

\*文化展

11月10日（土）から  
 11月29日（日）まで

\*芸能発表会

11月23日（水）

\*山野草展示会

11月26日（土）  
 11月27日（日）

### 由良町ALTYONE

#### 英会話教室開催について

中央公民館において、11月から月2回、全6回の英会話教室を開催する予定です。講師はアメリカ出身のルイス先生です。とても分かりやすく教えて下さるので、この機会にトライしませんか？

みなさん、一緒に勉強しましょう！

詳細は、中央公民館にお問い合わせ下さい。

